#### 研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 5 年 6 月 2 9 日現在

機関番号: 32652

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2018~2021

課題番号: 18H00704

研究課題名(和文)新設科目「歴史総合」のモデル構築:高大連携による世界史・日本史教育の統合

研究課題名(英文)Building appropriate models for the new subject Rekishi Sogo (Modern and Contemporary History): An Attempt to Integrate Japanese History and World History through High School -University Collaboration

### 研究代表者

茂木 敏夫 (MOTEGI, Toshio)

東京女子大学・現代教養学部・教授

研究者番号:10239577

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 12,100,000円

研究成果の概要(和文):2022年度から始まった高等学校の新設科目「歴史総合」において、授業内容を充実させることのできるような教師用の副読本を、高大連携によって作成し、刊行した。その際、思考力を重視することを目的とした新設科目の趣旨に沿い、高校生が資料から自ら「問い」を立てて考える能力の育成を重視した。副読本の作成を通じて、高校における日本史と世界史の分断、大学における日本史・東洋史・西洋史の分断を架 橋することを試みた。

研究成果の学術的意義や社会的意義 高大連携の試みによる研究成果として刊行された「歴史総合」の教師用副読本は、新設科目「歴史総合」開始当初から、高校教員に利用されている。歴史教育における「問い」を6つ(事象と時期、推移、因果関係、相関関係、比較、予測・提言)に整理して提示した試みは、今後の歴史的思考力育成の課題を考えるうえで、ひとつの指針、あるいは座標軸になると思われる。なお、この「問い」の6類型は大学のリベラルアーツ教育における歴史教育にも生かせると思われる。

研究成果の概要(英文): In Japanese high schools, new subject Rekishi Sogo (Modern and Contemporary History) started in 2022.

In order to enrich the contents of the new subject, we have created and published a supplementary reader for teachers by collaboration between university history research and high school history education. Since this subject emphasizes improving student's ability to think historically, we made sure that students acquire the ability to ask and think for themselves based on the materials. Through the creation of supplementary reader, we tried to bridge the divide between Japanese History and World History in high school and bridge the divide between Japanese History. Eastern History and Western History in university.

研究分野: 中国近代思想史

キーワード: 歴史総合 高大連携 歴史教育

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1.研究開始当初の背景

- (1) 2006 年に発生した、いわゆる「世界史未履修問題」の解決策として、2011 年、日本学術会議がそれまでの世界史必修に代えて、世界史と日本史を統合した「歴史基礎」と「地理基礎」を必修にすることを提言した。その提言に関わった研究者が中心となって、2012 年、高校歴史教育研究会(代表:油井大三郎)が発足し、三菱財団の人文科学研究助成(2 年間)を受けて、高校歴史教科書の実態調査をおこない、2014 年 7 月、教科書に収録する用語や思考力育成に関する報告書を公表した。また、同研究会はこの時期、日本学術会議の高校歴史教育に関する分科会や日本歴史学協会の歴史教育特別委員会の協力を得て、高校歴史教科書の収録用語や大学入試の出題用語に関する高校教員・大学教員へのアンケート調査をおこない、その結果を 2014 年 9 月に発表して研究会を終了させた。その反響は小さくなく、歴史教育に関する高大連携の機運の高まりを背景に、2015 年 7 月には全国規模の組織として、高大連携歴史教育研究会が発足した。
- (2)この間、文部科学省は、2014年に今後の学校教育の在り方を中教審に諮問し、中教審の答申を受けて、新たな学習指導要領で「歴史総合」などの科目を必修科目として新設し、これを2022年度から開始することを決定した。
- (3)こうした動きを受けて、新設される「歴史総合」を充実したものにするために、その内容を検討するとともに、教育現場で使えるような教師用の副読本を作成することを目的として、かつての高校歴史教育研究会の関係者で東京近県在住者が中心になり、2015 年 4 月、新たなメンバーを加えて、第二次高校歴史教育研究会(代表:木村茂光)を発足させた。同年 7 月に発足した高大歴史教育研究会とも連携しながら、1~2ヶ月に1回の頻度で、「歴史総合」の可能性について考える研究会を東京女子大学で開始した。その間、グローバル化時代の歴史教育であるならば、海外の歴史教育の実践についても参考にすべきだと思い至った。2012 年に韓国では「東アジア史」が開設されており、また、この時期、台湾でも教育内容の改訂作業が進んでいることを知り、台湾の関係者からの交流の打診もあったため、近隣諸国の経験を調査し、意見交換する機会も有意義だと認識した。また、海外調査のみならず、全国規模の高大連携歴史教育研究会との連携を無理なく進めるとともに、副読本作成作業を円滑かつ効率的に進めるために、科学研究費基盤研究に応募するのが適当と判断し、定例研究会の会場校である東京女子大学に所属する茂木敏夫を代表者として応募した。

## 2.研究の目的

- (1)2022 年度から始まる新設科目「歴史総合」において、授業内容を充実させることのできるような、教師用の副読本を作成することによって、この新設科目の教育におけるモデルを構築し、 当該科目の可能性を広げることを、第一の目的とする。
- (2) そのために高校教育の場における日本史と世界史との分断、大学の研究・教育の場における日本史・東洋史・西洋史の分断を架橋するとともに、大学における研究・教育と高校における教育とを架橋することを、第二の目的とする。それによって、個別研究に埋没しがちな歴史研究に対して、歴史を語る大きな枠組みの再構築に向けた、新たな問題提起を試みることも構想している。

## 3.研究の方法

- (1)研究会は研究代表者と研究分担者 4 名、および研究協力者 4 名(2018 年度 10 月から 5 名) によって構成され、うち 4 名は高校教育の現場経験者(現職教員、あるいは高校教員を経て現在、大学の教職課程担当教員)である。また、専門は一応、日本史 2 名、東洋史 1 名、西洋史 3 名、日本史教育 2 名、世界史教育 2 名であるが、研究会では専門を越えて相互に越境して考えることを課した。研究会は月例研究会を主とし、必要に応じて合宿研究会や国内外の調査をおこなった。
- (2)月例研究会では、「歴史総合」副読本の作成、最終年度(2021年度)の刊行を目指し、まず2017年度に公表された新しい学習指導要領の内容を分析した。本研究開始後、2018年7月に指導要領「解説」が公表されて、科目の詳細が明らかになったので、この「解説」を分析し、作成される教科書(2単位)の内容を想定しながら、副読本の構成など、大まかな内容の検討をおこなった。教師の発する「問い」だけでなく、生徒が「問い」をたてることが重視されていたので、「問い」はどうあるべきかについて、研究会では議論を重ねた。なお、教師用副読本という趣旨から、指導要領「解説」に記載された内容は、実際の教科書では選択してとりあげることが予想されても、副読本では漏れなくとりあげ、可能な限り広くカバーするようにした。また、生徒の目線に留意するために、中学歴史教科書の内容もあらかじめ検討した。

(3) 副読本の構成が決まった段階で、項目ごとに分担を決めて、内容の具体的な検討作業を進めた。まず、担当者が、その項目でとりあげる内容、使用する資料、および「問い」を記載した原稿を作成し、それを定例研究会で相互に読み会い、議論した。それを繰り返して第2年度(2019年度)に第一次原稿を完成させた。この間、副読本を刊行する出版社(浜島書店)を決め、体裁等に関する助言を受けながら、第3年度(2020年度)は印刷刊行のための体裁が整うように、修正作業をおこなうことになった。ただし、2020年度以降、新型コロナウイルス流行により、作業と会議はオンラインになった。

(4)グローバル化時代の歴史教育はどうあるべきかを考え、「問い」に生かすことを目的として、海外の事例を参考にする海外調査をおこなった。まず第1年(2018年)は、2012年から「東アジア史」を開設した韓国の授業実践を参考にするために、韓国で高校の授業を参観し、教員と意見交換した。次いで、第2年(2019年)は、日本と同時期に新しい教育課程に取り組んでいた台湾の歴史教育について、教科書の作成者との面談、および高校教育の現場を参観し、教員との意見交換をおこなった。第3年(2020年)はドイツの歴史教育の経験を調査することを予定した。(新型コロナウイルス流行のため、延期したものの、結局実施できなかった。)

(5) 高大連携歴史教育研究会と連携し、共同で研究会をおこなったり、個別に同研究会に参加したりした。同時に、全国各地の他の高校教員らの研究会とも交流して、その経験を副読本に生かすようにつとめることを重視した。東京学芸大(分担者=木村茂光・日高智彦)出身者のネットワークの関係者や静岡大学(分担者=岩井淳)が関係する静岡歴史教育研究会などとは時間をかけて研究会や意見交換などができた。

## 4. 研究成果

(1)「歴史総合」教師用の副読本を作成し、刊行した(高校歴史教育研究会編『資料と問いから考える歴史総合』浜島書店、2022年3月)。新型コロナウイルス流行のため、編集作業は少し遅れたが、同年4月からの「歴史総合」科目の開始には間に合い、初年度から高校教育の現場で活用することができた。

(2)上記副読本では、思考力重視を謳う指導要領の趣旨を重視して、特に「問い」について考察を加えた。学習指導要領「解説」では A「歴史の扉」で基本的な学習をした後、本論として B「近代化と私たち」 C「国際秩序の変容や大衆化とわたしたち」 D「グローバル化と私たち」 各編を置くことが示され、B、C、D それぞれ、まず(1)「 への問い」が置かれ、次いで(2)(3)での叙述の後に(4)でまとめとして、B、C は「 と現代的な諸問題」、D は「現代的な諸問題の形成と展望」が配置されている。そこで、副読本では、

副読本各編の第1章を、「への問い」とした。指導要領「解説」では5~6項の課題が提示され、それらのなかのいくつかを、組み合わせたり、そのうちの1つの内容を異なる観点で検討したり、どちらも可としているので、教員の工夫が可能なように、指導要領「解説」において指摘された5~6項すべてを網羅してとりあげた。

副読本各編の第2章・第3章を、指導要領「解説」に示された(2)(3)に相当するものとして、内容(テーマ)ごとに必要な「知識」を身に付け、「思考力、判断力、表現力を身に付ける」ところとした。そこでは、テーマ全体に関わる「問い」や、とりあげた資料に即した「問い」を設けたり、それぞれのテーマごとに、複数の資料や観点を総合して、多面的・多角的に考察できるように各テーマの「まとめの問い」を配置したりした。

副読本各編の第4章は第1~3章の資料に加えて、新たな資料も提示して各編の「まとめの問い」を提示し、歴史の複雑な在り方、因果関係などの学習を促している。また、「現代を考える問い」を置き、歴史学習が現在の問題を考える際に必要かつ有効な方法であることが学べるようにすることとした。生徒の自由な討論や発表のための参考にもなるようにした。なお、最後のD(4)は、指導要領「解説」によれば、各編のまとめであると同時に、「展望」も付され、「歴史総合」全体のまとめにもなっている。そのため、副読本においても「グローバル化と私たち」第4章では、「学んだ資料の振り返り」ができるように、導きとなる「問い」を配置するとともに、さらに「作業の指針」を示して教員の参考に供する欄を設けた。

このように、「問い」こだわり、「問い」に関して教師が参考にしつつ、教師自身の創意工夫にも結びつけてゆけるように、検討を重ねた。特に、その「問い」の意味について、教師自身が考えを深める指針となるように、副読本のなかで「歴史を考えるための問いの類型と関係性」として整理している。その類型とは、

事象と時期: 個別の事象について問う。「いつ、何が起こったか」

推移: 複数の事象の連なりを描写する。「どのように変化したか」、「何が変わり、何が変わらなかったか」

因果関係: 複数の事象のあいだの因果関係を考える。「なぜ起こったか」、「どのような影響を及ぼしたか」

相関関係: 複数の事象のあいだの連関・相互関係を考える。「相互にどのような関係にあっ

たか」

比較: 複数の事象を比較する。「複数の事象のあいだにどのような共通点を見出すことができるか、「特徴は何か」

予測・提言: 歴史をふまえて現在と未来に向けた展望と指針を得る。「今後、どのような展開となることが望ましいと考えるか」、「自分はどうすべきだと考えるか」である。入手しやすい資料を選びながら、以上6つの類型の「問い」を配置し関連させることで、副読本は構成されている。

- (3)研究会において、副読本をまとめる最終段階、「問い」について精査するプロセスにおいて、6類型の「問い」に整理したうえで、それらを副読本において明示的に提示することに思い至ったわけであるが、結果として、これは意義深いことになったと考えている。この整理は、高大連携歴史教育研究会ほか、現場の高校教員からも一定の評価を得ており、手応えを感じている。個別の資料や「問い」については、今後の教育実践において、より多くの事例が見出され、量的拡大によって、よりよいものに練り上げられていくことになるだろうが、それを質的に充実させていくために、本研究で試みた「問い」の類型と関係性の整理は、一定の指針あるいは座標軸になるのではないかと考えている。また。大学におけるリベラル・アーツ教育の場での歴史教育にも、この整理は応用できるのではないかと考えている。
- (4)本研究は当初の予定では、2021年度に副読本を刊行することを以て完結する予定であった。 しかし、新型コロナウイルス流行により、2020年度に予定していたドイツの歴史教育の視察が 不能になり、また国内での移動や対面での調査や会議も不能になり、2022 年度まで繰り越すこ とになった。ただし、副読本は予定通り2021年度末に刊行できたため、結果として、2022年4 月から始まった「歴史総合」の実施の様子を観察し、副読本の利用の仕方やその長所短所を確認 することができることになった。なお、当初予定していたドイツ視察は現地の感染状況と、この 間の航空運賃高騰のため、研究会メンバー全員での実施は無理と判断した。そこで、実際に開始 された「歴史総合」を観察することに計画を変更した。つまり、ドイツの歴史教育の現場ではな く、日本の「歴史総合」教育の現場を視察し実情を調べ、関係者と意見交換することに変更して、 繰越し分の研究を進めることにしたわけである。まず、使用されている「歴史総合」教科書を全 種類取り寄せて、その内容を分析するとともに、副読本と併せて使用する際の有効性や問題点の 検討をした。さらに、「歴史総合」実施の現場の状況を視察し、副読本がどう利用できるか等、 高校教育の現場に即して考えることを試みた。現場からの声としては、上述の「問い」の類型化 には教員からも一定の評価がなされた一方で、現場の課題としては、「問い」については多様 な現場にふさわしい、多様な「問い」の事例が必要、 2単位では教科書の内容も分量が多すぎ るので、どのように全体をスリム化できるか、 「歴史総合」単独ではなく、「日本史探究」や 「世界史探究」とも併せて考える必要がある等々、課題が指摘された。今年度、2023 年度から 始まった「日本史探究」、「世界史探究」との接続の問題は、副読本を完成させる時点で、次の課 題として研究会メンバーの間で共通認識になっていた。
- (5)研究目的(2)で挙げた高校における日本史・世界史の架橋、大学における日本史・東洋史・西洋史の架橋は、研究会において副読本を作成するプロセス、およびその結果としての副読本においては、一定程度実現できていたのではないかと考えている。また、既述のように、副読本における「問い」を考えるプロセスでおこなった考察は、大学のリベラル・アーツ教育における歴史教育にも示唆するところが多いと気づかされた。ただし、これらはあくまでも個別の経験にとまるもので、架橋をより一般化、あるいは制度化していくまでには、依然として多くの実践が必要であることはいうまでもない。今後の課題としたいと考えている。

# 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計39件(うち査読付論文 4件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 6件)

1 . 著者名	4.巻
茂木敏夫	16
2 . 論文標題	5 . 発行年
中国文化世界における秩序形成	2023年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
日本中国友好協会『研究 中国』	13-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 - -
1 . 著者名	4.巻
岩井淳	17
2 . 論文標題	5 . 発行年
英米のピューリタニズムとコモンウェルス	2023年
3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁
ピューリタニズム研究	3-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻
木村茂光	1
2.論文標題	5 . 発行年
荘園研究進展のための二・三の論点	2023年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
鎌倉佐保編『荘園研究の論点と展望』吉川弘文館	103-111
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 木村茂光	<b>4</b> . 巻 1
2.論文標題	5 . 発行年
陸奥国骨寺村 北方の中世村落	2023年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
鎌倉佐保編『荘園研究の論点と展望』吉川弘文館	114-123
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名   戸川点	
	4 . 巻
	4
	5.発行年
資料読解力をどう育成するか	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
拓殖大学教職課程年報	57-67
<u></u> 掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
(and confidence)	
. ++4	
1.著者名	4 . 巻
戸川点	1188
2.論文標題	5.発行年
	2023年
教員養成課程からみる「歴史総合」 / 歴史学	2023 <del>T</del>
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
思想	61-75
	本芸の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カランテアとれてはない、人はカーランテアとハル四無	
. ***	
1.著者名	4 . 巻
日高智彦	1
2 . 論文標題	5.発行年
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり	2022年
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり	2022年
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり	2022年
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり 3.雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり 3.雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり 3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社	2022年 6 . 最初と最後の頁 38-43
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 38-43 査読の有無
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり 3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社	2022年 6 . 最初と最後の頁 38-43
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 38-43 査読の有無
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 38-43 査読の有無
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	2022年 6.最初と最後の頁 38-43 査読の有無 無
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2022年 6.最初と最後の頁 38-43 査読の有無 無
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁 38-43 査読の有無 無 国際共著
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁 38-43 査読の有無 無 国際共著
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 日高智彦  2.論文標題	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 日高智彦  2.論文標題 教科書と社会科教育	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2022年
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 日高智彦  2.論文標題	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3 . 雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 教科書と社会科教育  3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 日高智彦  2.論文標題 教科書と社会科教育	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2022年
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 日高智彦  2.論文標題 教科書と社会科教育  3.雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 日高智彦  2.論文標題 教科書と社会科教育  3.雑誌名 手島純編 『社会科・地歴科・公民科指導法 新学習指導要領の研究と実践的展開』星槎大学出版会	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 38-48
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3 . 雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 教科書と社会科教育  3 . 雑誌名 手島純編 『社会科・地歴科・公民科指導法 新学習指導要領の研究と実践的展開』星槎大学出版会  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 38-48
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3.雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 日高智彦  2.論文標題 教科書と社会科教育  3.雑誌名 手島純編 『社会科・地歴科・公民科指導法 新学習指導要領の研究と実践的展開』星槎大学出版会	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 38-48
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3 . 雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 教科書と社会科教育  3 . 雑誌名 手島純編 『社会科・地歴科・公民科指導法 新学習指導要領の研究と実践的展開』星槎大学出版会  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 38-48
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3 . 雑誌名 荒井正剛 『中東教育社会科教師の専門性育成』学文社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 教科書と社会科教育  3 . 雑誌名 手島純編 『社会科・地歴科・公民科指導法 新学習指導要領の研究と実践的展開』星槎大学出版会  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 38-48  査読の有無 無
学習指導要領・教科書と社会科の授業づくり  3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 38-43  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 38-48

	1
1.著者名	4.巻
日高智彦	2023年1月号
2 . 論文標題	5 . 発行年
社会科教育における性教育の可能性について	2023年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
** *** * *	
季刊セクシュアリティ	30-37
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	四际六名
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英名夕	4.巻
1 . 著者名	
茂木敏夫	1
2.論文標題	5 . 発行年
近代東アジアにおける王権の磁場	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
伊東貴之編 東アジアの王権と秩序 汲古書院	765-778
	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
+ 1,7567	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u> </u>
1 520	4 *
1 . 著者名	4.巻
1.著者名 茂木敏夫	4.巻
	_
茂木敏夫	1
茂木敏夫 2.論文標題	5 . 発行年
茂木敏夫	1
茂木敏夫 2.論文標題	5 . 発行年
茂木敏夫 2.論文標題 中国的秩序の理念	1 5.発行年 2022年
茂木敏夫 2 . 論文標題 中国的秩序の理念 3 . 雑誌名	1 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
茂木敏夫 2.論文標題 中国的秩序の理念	1 5.発行年 2022年
茂木敏夫 2 . 論文標題 中国的秩序の理念 3 . 雑誌名	1 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
茂木敏夫 2 . 論文標題 中国的秩序の理念 3 . 雑誌名	1 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
茂木敏夫  2.論文標題 中国的秩序の理念  3.雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店	5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 289-312
茂木敏夫  2. 論文標題 中国的秩序の理念  3. 雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	1 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
茂木敏夫  2.論文標題 中国的秩序の理念  3.雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店	5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 289-312
茂木敏夫  2. 論文標題 中国的秩序の理念  3. 雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	1 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 289-312 査読の有無
茂木敏夫  2.論文標題 中国的秩序の理念  3.雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	1 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無
茂木敏夫  2.論文標題 中国的秩序の理念  3.雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 289-312 査読の有無
茂木敏夫  2.論文標題 中国的秩序の理念  3.雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	1 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無
茂木敏夫  2.論文標題 中国的秩序の理念  3.雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無
茂木敏夫         2. 論文標題 中国的秩序の理念         3. 雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著
茂木敏夫2.論文標題 中国的秩序の理念3.雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著
茂木敏夫         2. 論文標題 中国的秩序の理念         3. 雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著
茂木敏夫         2.論文標題中国的秩序の理念         3.雑誌名李曉東・李正吉編論集北東アジアにおける近代的空間明石書店         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセスオープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著
茂木敏夫         2.論文標題 中国的秩序の理念         3.雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 岩井淳	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 17
茂木敏夫         2.論文標題 中国的秩序の理念         3.雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 岩井淳         2.論文標題	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年
茂木敏夫         2.論文標題 中国的秩序の理念         3.雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 岩井淳	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 17
茂木敏夫         2.論文標題 中国的秩序の理念         3.雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 岩井淳         2.論文標題	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年
茂木敏夫         2.論文標題 中国的秩序の理念         3.雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 岩井淳         2.論文標題 蒋渭水「臨床講義」の今日的意義       20世紀前半の台湾文化協会と民族運動	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2022年
茂木敏夫  2 . 論文標題 中国的秩序の理念  3 . 雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩井淳  2 . 論文標題 蒋渭水「臨床講義」の今日的意義 20世紀前半の台湾文化協会と民族運動  3 . 雑誌名	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
茂木敏夫         2.論文標題中国的秩序の理念         3.雑誌名李曉東・李正吉編論集北東アジアにおける近代的空間明石書店         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名岩井淳         2.論文標題蒋渭水「臨床講義」の今日的意義 20世紀前半の台湾文化協会と民族運動	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2022年
茂木敏夫  2 . 論文標題 中国的秩序の理念  3 . 雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩井淳  2 . 論文標題 蒋渭水「臨床講義」の今日的意義 20世紀前半の台湾文化協会と民族運動  3 . 雑誌名	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
茂木敏夫  2 . 論文標題 中国的秩序の理念  3 . 雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩井淳  2 . 論文標題 蒋渭水「臨床講義」の今日的意義 20世紀前半の台湾文化協会と民族運動  3 . 雑誌名	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 3-8
茂木敏夫         2 . 論文標題 中国的秩序の理念         3 . 雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 岩井淳         2 . 論文標題 蒋渭水「臨床講義」の今日的意義 20世紀前半の台湾文化協会と民族運動         3 . 雑誌名 静岡大学人文学部 アジア研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 国際共著 4.巻 17 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 3-8
茂木敏夫         2 . 論文標題 中国的秩序の理念         3 . 雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 岩井淳         2 . 論文標題 蒋渭水「臨床講義」の今日的意義 20世紀前半の台湾文化協会と民族運動         3 . 雑誌名 静岡大学人文学部 アジア研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 3-8
茂木敏夫         2 . 論文標題 中国的秩序の理念         3 . 雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 岩井淳         2 . 論文標題 蒋渭水「臨床講義」の今日的意義 20世紀前半の台湾文化協会と民族運動         3 . 雑誌名 静岡大学人文学部 アジア研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし	1 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 -  4 . 巻 17  5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 3-8
茂木敏夫         2 .論文標題 中国的秩序の理念         3 .雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 岩井淳         2 .論文標題 蒋渭水「臨床講義」の今日的意義 20世紀前半の台湾文化協会と民族運動         3 . 雑誌名 静岡大学人文学部 アジア研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス	1 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 289-312 査読の有無 国際共著 4.巻 17 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 3-8
茂木敏夫         2 . 論文標題 中国的秩序の理念         3 . 雑誌名 李曉東・李正吉編 論集北東アジアにおける近代的空間 明石書店         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 岩井淳         2 . 論文標題 蒋渭水「臨床講義」の今日的意義 20世紀前半の台湾文化協会と民族運動         3 . 雑誌名 静岡大学人文学部 アジア研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし	1 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 289-312 査読の有無 無 国際共著 -  4 . 巻 17  5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 3-8

1 . 素音名   1 . 素音名   2 . 競行年   2000年   3 . 銀行名   3 . 銀紅名   3 . 銀石名   3 . 銀		. , ,,,,
2. 前文標題 令和の年発行予定中学校社会科教科書の調査・研究 3. 結誌名 肝病力学教職課程年報 6. 最初と最後の頁 68-80    題談の有照 なし   オープンアクセス   国際共著   1 - 書名名   戸川点   2 - 第2021年   2021年   2021	1.著者名	4 . 巻
2. 前文標題 令和の年発行予定中学校社会科教科書の調査・研究 3. 結誌名 肝病力学教職課程年報 6. 最初と最後の頁 68-80    題談の有照 なし   オープンアクセス   国際共著   1 - 書名名   戸川点   2 - 第2021年   2021年   2021	戸川点	3
令和3年発行予定中学校社会科教科書の調査・研究       2020年         3. 掩話名		
令和3年発行予定中学校社会科教科書の調査・研究       2020年         3. 掩話名	2	F 28/=/=
3 . 利証名		
括数論文の001 (デジタルオブジェクト識別子)	令和3年発行予定中学校社会科教科書の調査・研究	2020年
括数論文の001 (デジタルオブジェクト識別子)		
括数論文の001 (デジタルオブジェクト識別子)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	6 是却と是後の百
指数節文のDOI(デジタルオブジェクト選別子) なし   国際共著   1   著書名   2   第20		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著	拓殖大学教職課程年報	68-80
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著	担事やさのDOL(ごごカリナイン・カト強リフ)	木柱の左無
1		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	なし	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	オープンアクセス	国際共革
1 ・著名名	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
戸川点       858         2 . 論文博題 教科書中の民衆像       5 . 第行年 2021年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁 88-67         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       国際共著 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1         1 . 著者名 日	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
戸川点       858         2 . 論文博題 教科書中の民衆像       5 . 第行年 2021年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁 88-67         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       国際共著 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1         1 . 著者名 日		
戸川点       858         2 . 論文博題 教科書中の民衆像       5 . 第行年 2021年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁 88-67         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       国際共著 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1         1 . 著者名 日	1 茎老夕	/1
2. 論文標題 教科書中の民衆像       5. 発行年 2021年         3. 雑誌名 歴史評論       6. 最初と最後の頁 58-67         掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         1. 著者名 日高智彦       4. 巻 1         2. 論文標題 (個見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために 3. 雑誌名 荒井正剛・小林春夫輪 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店       6. 最初と最後の頁 176-185         掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         1. 著者名 岩井淳       4. 巻 34         2. 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」       5. 飛行年 2020年         3. 雑誌名 日本歴史学協議会年報       5. 飛行年 2019年         3. 雑誌名 日本歴史学協議会年報       6. 最初と最後の頁 57-64         掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし       5. 飛行年 2019年         3. 雑誌名 日本歴史学協議会年報       6. 最初と最後の頁 57-64         掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		
数科書中の民衆像	广川点	ರಾಶ
数科書中の民衆像		
数科書中の民衆像	2. 論文標題	5 発行年
歴史評論 58-67	<b>叙付香中の比承隊</b>	2021年
歴史評論 58-67		
歴史評論 58-67	3 . 雑誌名	6.最初と最後の百
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)		
### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	ᄹᅩᆺᇚᄤ	JO-01
### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	掲載絵文のDOI (デジタルオブジェクト幾則子)	杏詰の右無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 著者名 日高智彦 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 ために 3 . 雑誌名		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	なし	<b>**</b>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	オープンアクセス	国際共著
1 ・ 著者名 日高智彦		
日高智彦       1         2.論文標題 (備見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指す ために       5.発行年 2020年         3.雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店       6.最初と最後の頁 176-185         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -       国際共著 34         2.論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」       5.発行年 2019年         3.雑誌名 日本歴史学協議会年報       6.最初と最後の頁 57-64         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
日高智彦       1         2.論文標題 (備見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指す ために       5.発行年 2020年         3.雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店       6.最初と最後の頁 176-185         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -       国際共著 34         2.論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」       5.発行年 2019年         3.雑誌名 日本歴史学協議会年報       6.最初と最後の頁 57-64         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		
日高智彦       1         2.論文標題 (備見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指す ために       5.発行年 2020年         3.雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店       6.最初と最後の頁 176-185         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -       国際共著 34         2.論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」       5.発行年 2019年         3.雑誌名 日本歴史学協議会年報       6.最初と最後の頁 57-64         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		
2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法       知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指す ために       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店       6 . 最初と最後の頁 176-185         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1 . 養 34         2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報       6 . 最初と最後の頁 57-64         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	1 . 著者名	4 . 巻
偏見に向き合う世界史把握の方法       知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために       2020年         3. 雑誌名		_
偏見に向き合う世界史把握の方法       知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために       2020年         3. 雑誌名		_
偏見に向き合う世界史把握の方法       知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために       2020年         3. 雑誌名		_
ために       3.雑誌名       6.最初と最後の頁         荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店       176-185         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無         オープンアクセス       国際共著         1.著者名       4.巻         岩井淳       5.発行年         2.論文標題世界史の視点から見る「歴史総合」       5.発行年         3.雑誌名日本歴史学協議会年報       6.最初と最後の頁         57-64       57-64	日高智彦	1
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店       176-185         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無         オープンアクセス       国際共著         1.著者名       4.巻         岩井淳       4.巻         2.論文標題世界史の視点から見る「歴史総合」       5.発行年         2.論文標題世界史の視点から見る「歴史総合」       6.最初と最後の頁         日本歴史学協議会年報       6.最初と最後の頁         表式の有無       5.7-64         場載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題	5 . 発行年
### ### #############################	日高智彦	5 . 発行年
### ### #############################	日高智彦  2 . 論文標題  偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために	5.発行年 2020年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	日高智彦  2 . 論文標題  偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために	5.発行年 2020年
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 岩井淳 2 . 論文標題 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報 6 . 最初と最後の頁 57-64 57-64 重読の有無 エープンアクセス 国際共著	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 岩井淳 2 . 論文標題 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報 6 . 最初と最後の頁 57-64 57-64 重読の有無 エープンアクセス 国際共著	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 岩井淳 2 . 論文標題 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報 6 . 最初と最後の頁 57-64 57-64 重読の有無 エープンアクセス 国際共著	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 岩井淳 2 . 論文標題 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報 6 . 最初と最後の頁 57-64 57-64 重読の有無 エープンアクセス 国際共著	日高智彦  2.論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために  3.雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス     国際共著       1 . 著者名 岩井淳     4 . 巻 34       2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」     5 . 発行年 2019年       3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報     6 . 最初と最後の頁 57-64       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし     査読の有無 無       オープンアクセス     国際共著	日高智彦  2.論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために  3.雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 岩井淳       4 . 巻 34         2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報       6 . 最初と最後の頁 57-64         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	日高智彦  2.論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために  3.雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 岩井淳       4 . 巻 34         2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報       6 . 最初と最後の頁 57-64         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	日高智彦  2.論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために  3.雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 岩井淳       4 . 巻 34         2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報       6 . 最初と最後の頁 57-64         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無
1 . 著者名 岩井淳       4 . 巻 34         2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報       6 . 最初と最後の頁 57-64         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無
岩井淳342.論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」5.発行年 2019年3.雑誌名 日本歴史学協議会年報6.最初と最後の頁 57-64掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	日高智彦  2 . 論文標題	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無
岩井淳342.論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」5.発行年 2019年3.雑誌名 日本歴史学協議会年報6.最初と最後の頁 57-64掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	日高智彦  2 . 論文標題	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無
岩井淳342.論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」5.発行年 2019年3.雑誌名 日本歴史学協議会年報6.最初と最後の頁 57-64掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指す ために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」5.発行年 2019年3.雑誌名 日本歴史学協議会年報6.最初と最後の頁 57-64掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指す ために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著
世界史の視点から見る「歴史総合」2019年3.雑誌名 日本歴史学協議会年報6.最初と最後の頁 57-64掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著
世界史の視点から見る「歴史総合」2019年3.雑誌名 日本歴史学協議会年報6.最初と最後の頁 57-64掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著
世界史の視点から見る「歴史総合」2019年3.雑誌名 日本歴史学協議会年報6.最初と最後の頁 57-64掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	日高智彦  2 . 論文標題	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 日本歴史学協議会年報       6.最初と最後の頁 57-64         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	日高智彦2.論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 ために知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために3.雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 岩井淳	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著
日本歴史学協議会年報       57-64         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著	日高智彦  2 . 論文標題	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年
日本歴史学協議会年報       57-64         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著	日高智彦  2 . 論文標題	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年
日本歴史学協議会年報       57-64         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩井淳  2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩井淳  2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年 2019年
# また	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指す ために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩井淳  2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」  3 . 雑誌名	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
# また	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指す ために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩井淳  2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」  3 . 雑誌名	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
# また	日高智彦  2 . 論文標題	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
# また	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指す ために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩井淳  2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」  3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 57-64
オープンアクセス 国際共著	日高智彦  2 . 論文標題	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 57-64
	日高智彦         2.論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法       知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために         3.雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 岩井淳         2.論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」         3.雑誌名 日本歴史学協議会年報         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 57-64
	日高智彦         2.論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法       知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために         3.雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 岩井淳         2.論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」         3.雑誌名 日本歴史学協議会年報         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 57-64
	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩井淳  2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」  3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 57-64 査読の有無 無
コープン アンプラ ころ このらい 「 人 15 コープン アープログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指すために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム/ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩井淳  2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」  3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 57-64 査読の有無 無
	日高智彦  2 . 論文標題 偏見に向き合う世界史把握の方法 知ることによって自らの偏見に気づき打破するような学習を目指す ために  3 . 雑誌名 荒井正剛・小林春夫編 イスラーム / ムスリムをどう教えるか 明石書店  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩井淳  2 . 論文標題 世界史の視点から見る「歴史総合」  3 . 雑誌名 日本歴史学協議会年報  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 176-185 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 34 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 57-64 査読の有無 無

	1
1.著者名	4.巻
岩井淳	24
2.論文標題	5.発行年
世界史の視点から考える「歴史総合」	2019年
ニュスンルボルン J ルマールス 心口!	20134
2 W註夕	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
学術の動向	50-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	, m
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
戸川点	2
2 . 論文標題	5.発行年
日本史探究をどう教えるか	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
拓殖大学教職課程年報	47-58
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	1
1. 著者名	4 . 巻
	66   66
日高智彦	00
o AA-LITT	= 78.7= (-
2.論文標題	5.発行年
第九次改訂学習指導要領と歴史教育の課題	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
史海	48-65
文/19	40-00
ARTHRIAN A. CO. C. CONT. C. L.	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
コープンプラー このこのです 人間コープンプラー 日本	l
4 ***	A 244
1 . 著者名	4.巻
君島和彦	898
2 . 論文標題	5 . 発行年
を	2019年
近天    ロップ・ アンロ 東大 八 間	2013+
3. hbit.dz	C = 17   5 / 5 / 5
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
歷史地理教育	54-61
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無   有
なし	有
オープンアクセス	
なし	有

	T
1.著者名	4.巻
君島和彦	24
2.論文標題	5.発行年
学習指導要領の構造と「歴史総合」	
子自指导安視の構造と、歴史総合」	2019年
	C P471 P// CT
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
学術の動向	38-39
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
し なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ****	4 **
1 . 著者名	4 . 巻
日高智彦	819
2.論文標題	5.発行年
高校世界史のゆくえ	2018年
同伙世介文のゆくん	2010 <del>年</del>
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
歴史評論	41-53
担事会かのDOL / ごごりリナゴご」りしかロフン	本芸の左师
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
う	
カーノンテッピへ いはない、 Xはカーノンテッピ人が 凶難	-
- ***	
1.著者名	4 . 巻
日高智彦	33
2.論文標題	5.発行年
······	
世界史論・世界史教育論の成果と課題から高校歴史新科目を考える	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本歴史学協会年報	53-65
口个位义于四五十代	33-00
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンマクセフ	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	- 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 日高智彦	- 4.巻 265
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題	- 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題	- 4.巻 265
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 日高智彦	- 4.巻 265 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 書評「秋田茂編著『「世界史」の世界史』	- 4.巻 265 5.発行年 2018年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 書評「秋田茂編著『「世界史」の世界史』  3 . 雑誌名	- 4 . 巻 265 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 書評「秋田茂編著『「世界史」の世界史』	- 4.巻 265 5.発行年 2018年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 書評「秋田茂編著『「世界史」の世界史』  3 . 雑誌名	- 4 . 巻 265 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 書評「秋田茂編著『「世界史」の世界史』  3 . 雑誌名 西洋史学	- 4 . 巻 265 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 書評「秋田茂編著『「世界史」の世界史』  3 . 雑誌名 西洋史学	- 4 . 巻 265 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 63-65
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 書評「秋田茂編著『「世界史」の世界史』  3 . 雑誌名 西洋史学  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 265 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 63-65
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 書評「秋田茂編著『「世界史」の世界史』  3 . 雑誌名 西洋史学	- 4 . 巻 265 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 63-65
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 書評「秋田茂編著『「世界史」の世界史』  3 . 雑誌名 西洋史学  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 4 . 巻 265 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 63-65  査読の有無 無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 日高智彦         2 . 論文標題 書評「秋田茂編著『「世界史」の世界史』         3 . 雑誌名 西洋史学         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス	- 4 . 巻 265 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 63-65
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 日高智彦  2 . 論文標題 書評「秋田茂編著『「世界史」の世界史』  3 . 雑誌名 西洋史学  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 4 . 巻 265 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 63-65  査読の有無 無

1.著者名	4.巻
君島和彦	880
2 . 論文標題	5.発行年
歴史総合とはどのような科目か	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
歴史地理教育	62 69
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
君島和彦・吉嶺茂樹・西村嘉高	7
2.論文標題	5.発行年
新指導要領をどう読み解き、どう具体的に考えるか	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
高大連携歴史教育研究会会報	3-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
油井大三郎	7
2.論文標題	5.発行年
第二次世界大戦をどう教えるか 世界史と日本史の統合の一事例として	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
高大連携歴史教育研究会会報	116-117
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
油井大三郎	2019年3月号
2.論文標題	5.発行年
転換期の歴史教育と東アジアの歴史対話	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
世界	208-216
	***o+**
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

〔学会発表〕 計16件(うち招待講演 7件/うち国際学会 3件)
1.発表者名 岩井淳
2.発表標題 近世史から「歴史総合」を考える
東海中学・高校土曜市民講座(招待講演)
4.発表年 2022年
1.発表者名 日高智彦
2.発表標題 教職課程「指導法」から「教師教育としての歴史教育」への問い
3.学会等名 高大連携歴史教育研究会第8回大会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 茂木敏夫
2.発表標題 普遍と特殊 近現代東アジアにおける秩序構想の語り方
3 . 学会等名 国際日本文化研究センター共同研究会
4.発表年 2019年
1.発表者名
戸川点
2.発表標題
日本史教育から見た文化史
3.学会等名 静岡歴史教育研究会(招待講演)
4 . 発表年 2019年
2010〒

1.発表者名
日高智彦
2 改丰福昭
2.発表標題 高校新科目「世界史探究」について
3 . 子云守日   シンポジウム「歴史教科書 いままでとこれから」
4.発表年
2019年
1.発表者名
おりません   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日
世界史の視点から見る「歴史総合」 産業革命・市民革命・帝国主義を中心に
日本歴史学協会2018年度歴史教育シンポジウム(招待講演)
4 . 光衣牛   2018年
2010-
1.発表者名
岩井淳
2 . 発表標題
「近代化」から考える「歴史総合」
3.学会等名
静岡歴史教育研究会
4.発表年
2018年
1. 発表者名
君島和彦
2.発表標題
「大衆化」から考える「歴史総合」
3.学会等名
静岡歴史教育研究会
2018年

1.発表者名 油井大三郎	
2.発表標題 「グローバル化」から考える「歴史総合」	
3 . 学会等名 静岡歴史教育研究会	
4 . 発表年 2018年	
〔図書〕 計6件	
1.著者名 岩井淳・岡田健・川喜田敦子・君島和彦・木村茂光・戸川点・日高智彦・茂木敏夫・安井崇・油井大三郎	4 . 発行年 2022年
2.出版社 浜島書店	5.総ページ数 224
3.書名 資料と問いから考える歴史総合	
1.著者名	4.発行年
南塚信吾・小谷汪之・秋山晋吾・割他聖史・日高智彦・鹿住大助	2019年
2 . 出版社 ミネルヴァ書房	5.総ページ数 <sup>259</sup>
3.書名 歴史的に考えるとはどういうことか	
〔産業財産権〕	
〔その他〕  茂木敏夫『アジアの歴史と文化 東アジア世界の構造変動とその歴史的淵源』東京女子大学2019年度武蔵野市寄付講座報告	書 2019年 1-161百。
茂木敏夫『東洋史概論 東洋史で考える』東京女子大学講義記録、2023年、1-216頁。	B. 201071 1 10120

6.研究組織

_6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	岩井 淳	静岡大学・人文社会科学部・名誉教授	
研究分担者	(IWAI Jun)		
	(70201944)	(13801)	
	木村 茂光	東京学芸大学・教育学部・名誉教授	
研究分担者	(KIMURA Shigemitu)		
	(90134759)	(12604)	
	戸川 点	拓殖大学・国際学部・教授	
研究分担者	(TOGAWA Tomoru)		
	(50781225)	(32638)	
	日高 智彦	東京学芸大学・教育学部・准教授	
研究分担者	(HIDAKA Tomohiko)		
	(60803921)	(12604)	
	<u>'</u>		

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	岡田 健		
研究協力者	(OKADA Ken)		
	川喜田、敦子		
研究協力者			
	君島和彦		
研究協力者	(KIMIJIMA Kazuhiko)		

6.研究組織(つづき)

	- M17とMLINEW (フラピー) 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	安井 崇 (YASUI Takashi)		
研究協力者	油井 大三郎 (YUI Daizaburo)		

7 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------